

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年7月5日

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大熊町教育委員会			代表者名	松岡 保夫
担当者部署	教育総務課			連絡先電話番号	0240-23-7194
担当者役職	主任主査	担当者氏名	喜浦 遊	連絡先E-mail	
住所	979-1306 福島県大熊町大字大川原				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	よい

上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)

アドバイザーへの要望事項

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年5月27日	事前打合せ(実地)	有	令和4年6月28日	85
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和4年7月1日	支援・助言(オンライン)	10時00分	17時00分	240
				活動時間(分)	180
3-2. 派遣場所	会場名	大熊町役場	最寄駅	JR大野駅	
	所在地	福島県大熊町大字大川原字南平1717	最寄駅からの交通手段	バス/公用車による送迎	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	社会教育複合施設整備検討委員及び職員	12人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	東日本大震災に伴う原発事故による避難指示が町内で継続している当町において、社会教育複合施設の整備を検討するにあたり、避難先に居住する多くの町民と、町内でも避難指示が解除された地域に居住する住人の双方に社会教育の機会を提供する必要がある。通常の自治体とは異なる町民構成を持つ町で、施設のサービスや所有資料をどのように利用し、地域に生かすかが課題である。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	社会教育複合施設の整備に向けて、有識者らによる第1回整備検討委員会を開催するにあたり、図書館整備やMLAKの支援や連携に実績にある岡本氏にアドバイザーとして出席いただき、助言をいただくことで、MLAK連携の事例や、また避難先町民と町をつなぐにあたってのICTサービスの可能性について、委員や担当職員で意識を共有したい。
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	現段階での▽図書館▽博物館▽公民館▽公文書館を一を各機能の併設ではなく、有機的に融合させた形の複合施設を計画できないかという町の整備方針に対し、複数の機能が重なり合って運営がされている事例として、名取市図書館や、須賀川市市民交流センター等の事例を提示いただいた。その上で、機能ごとの縦割り運営を脱却するためには組織の改変も含めた人の配置が重要であるとご助言いただいた。

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<p>加えて、施設の対象者として避難先にいながら町との繋がりを求める方々は町の責務として欠かせない。</p> <p>避難先の住民の高齢化が進むにつれ、自家用車の運転ができなくなるなど、町と関わりたくても具体的に来訪が難しくなる。その方々に対してどのように施設が社会教育の役割を果たせるかは検討課題であり、デジタルがその方策であることは想像できても、担当職員に「デジタル」や「ICT」という言葉に対する「難しそう」という偏見があり方策をうまくイメージできなかった。今回、岡本氏より、高齢者の多くも利用しているスマートフォンをベースに考えること、生涯学習事業の一環としてスマホをうまく活用してもらえるような講座等を小さくでも継続していくことなどを助言いただき、「誰もが使えるデジタル環境の構築」ではなく「日常のレベルにあるデジタル環境を生かしたサービス」を検討していけばいいのだと認識を転換できた。</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	委員会においての遠方にいる住民とのつながり維持の方策としてのデジタル活用の必要性の認識共有。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>検討委員会への出席により助言いただいたもので、アンケート対象が不在だった。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	施設の整備方針を明確にした上で、今年度または次年度以降の予算確保が必要かを見極める。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
 なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



